

取組名称	大都会東京でイキモノとの共生、人とのつながり、循環を創る「TOKYO LOOP PROJECT」			団体設立後の経過年数	
応募取組主体名称	TOKYO LOOP PROJECT	活動地域	東京都葛飾区	応募取組の活動年数	5年目
取組主体の種類	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとりづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への思いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨
東京23区内で「イキモノと共生し」「人がつながり」「やってみるから循環を創る」プロジェクト。大都会である東京で、イキモノ（烏骨鶏）と共生することをきっかけに、ご近所さんのフードウェイストを烏骨鶏のご飯にして、たまごが生まれたらおすそわけする、という交流や循環をつくったり、烏骨鶏のさんぼを地域の人たちと一緒にすることによって、いままでなかった、たくさんの人とのつながりをつくっています。
実績の要旨
イキモノとの共生により、いままでつながりのなかったご近所さんとの交流や、フードウェイストを利用した食べ物の循環を創ることができ、ご近所さんたちとの輪に広がりました。また、烏骨鶏と一緒にさんぼすることで、ご近所さん同士の会話が生まれ、それぞれの輪が広がりました。「楽しい」と「うれしい」と「かわいい」を地球にやさしい活動でつなげれば、大都会でも「人とのつながりができるんだ！」と発見しそれを実現中です。

取組評価の要旨	環境への貢献	捨てられるはずだったゴミ（野菜くずなど）を減らし、イキモノ（烏骨鶏）の力で、人の食べ物に変える循環を創っています。
	社会・経済への貢献	烏骨鶏を通して話すきっかけが生まれ、地域のつながりが生まれて、それが地域の活気（楽しい）や、防災につながっています。
	地域資源の活用	家庭のゴミや近所付き合いから、地域の交流や地域の活気を生み出しています。
	普及・汎用性	自分の地域ではつながりや循環を創ることが無理だと思っていた人たちにも、今ある環境で応用できる事例だと思います。
	革新・ユニーク性	大都会東京のど真ん中（23区内）で、イキモノとの共生によって、人とのつながりの創出や、ゴミの循環を実現したことです。
	継続性	自分一人から始められ、楽しんで続けられる。イキモノとの共生による「楽しい」「かわいい」が周りを巻き込むことによって、自分の人生が好転し続けている。なので、やめる理由がない。

展望の要旨	地域の輪を広げつつ、子供たちとの交流を増やしたり、企業とつながり、イキモノやゴミを活用した循環を生み出すことに挑戦しています。
-------	---